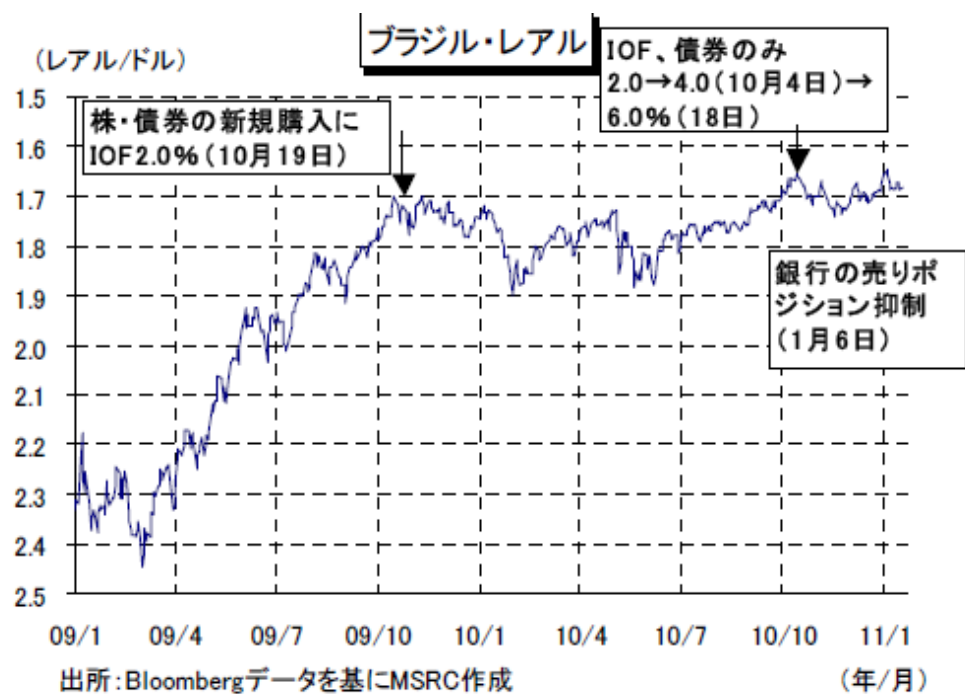


2010年回顧と2011年度展望 業種別部会長シンポジウム

ブラジル日本商工会議所
食品部会
2011年2月15日(火)

為替動向



商品相場

| | コーヒー(アラビカ) ¢/lb | 砂糖 ¢/lb | コーンUS\$/lb |
|---------|--------------------|---------|------------|
| 2010年6月 | 133-167 | 14-16 | 3-4 |
| 9月 | 177-189 | 22-24 | 5-6 |
| 12月 | 205-240 | 30-32 | 6-7 |

国内消費動向

1.2010年度

年間通して堅調な需要に支えられ加工食品全般に亘って二桁前後の成長を実現した。

要因としては

- ① 各社新製品の導入
- ② 中低所得者層の購買力の上昇（特に、北東部）
- ③ 上半期Wカップ特需（特に清涼飲料・酒類）
- ④ 販売チャネルの拡充

2. 2011年度

中低所得者の購買力が引続き伸長すると思われ、北部・北東部が成長の牽引役となり大筋としては現在の成長が継続するものと思われる。

最大の不安要因はコモディティ相場動向。

輸出動向

1. 2010年

食糧 コモディティの需要は新興国の順調な消費に支えられ世界需要は確実に回復し、一次産品(コーヒー畜肉等)の輸出は金額ベースで対前年10%を越える伸長を記録した。

2. 2011年

新興国を中心とした需要の伸びは堅調であり、引続き拡大すると思われる。